

# おばあちゃんがハチに!?

新見市立上市小学校

六年 森

かな恵

「どういうこと？」

「おばあちゃんがハチになったんよ。」

ガハハッ。と、おばあちゃんは、大きな口を開けて笑いながら言いました。

私のおばあちゃんは、畑でいろんな野菜を作っています。毎年の私のお気に入りは、おばあちゃんの作る大きなズッキーニです。みずみずしくて、あまくて、やわらかくて、大好きです。そのズッキーニが、今年はピンチです。ズッキーニは、カボチャなどと同じように、受粉しないと実がならないそうです。が、その役わりをするハチや虫が、今年は、暑さのせいかいなくて実がなりません。おばあちゃんは、ズッキーニを食べるのを楽しみにしている私のために、どうすればいいか農協の人に聞いてくれたらしいのです。そして、お花をめ花に受粉させるのだと教えてもらい、さつそく次の日から、おばあちゃんミツバチの出動です。

ズッキーニの畑は、家から少しはなれた下の畑に植えているので、毎朝、おばあちゃんは受粉のために、よつこら

よつこらと歩いて通ってくれていました。そして、そのめ花とお花が咲くのも早朝だけらしく、九時くらいになるとしぼんでしまうので、朝早く畑に行ってお花を取ってめ花に花粉をつけてくれていました。

数日後、おばあちゃんがニコニコしながら、

「かなちゃん、畑に行つて見てごらんよ。」

と言つたので、行つてみると、なんと!?め花の下についていた小つちやい実が、長くなつて、ズッキーニができていました。

「えっ!! スゴッ!!」

家に帰つておばあちゃんに、

「ズッキーニできとるが。」

と言つたら、

「じやろう。まだ、次々できるけえ、いっぱい食べえよ。」

と、おばあちゃんは、うれしそうに私に言いました。お母さんにも、ズッキーニを見せると、

「えっ、できないつて言つてたのにすごいな。」

と、びつくりしていました。

緑色がツヤツヤしていて、もうおいしそう。おばあちゃんミツバチ、すごいです。夜ごはんは、ズッキーニ食べ放題。ぶた肉で巻いたり、天ぷらにしたり、もちろんそのまま焼いてもおいしいです。

来年もピンチだったら、朝早く起きて、おばあちゃんの手伝いができるようにしよう。

「おばあちゃん、ありがとうな。毎朝、大変じゃったろ。」  
「ううん。こんな、ズッキーニの作り方もあるんじゃないかって、勉強になったで。ありがとうな。」  
「やっぱ、やさしいおばあちゃんも、おばあちゃんの作るズッキーニも、最高です。」